

2025 年 11 月 18 日

The Linux Foundation のグローバルイベント 「Open Source Summit Japan」に日立が出展

国内企業最多の 10 名が登壇し、コミュニティ活動を通じたビジネス貢献や、
AI・クラウドネイティブ・セキュリティの最新技術動向などについて講演

株式会社日立製作所(以下、日立)は、Linux の標準化や OSS コミュニティをリードする The Linux Foundation(以下、LF)が、12 月 8 日(月)～10 日(水)に開催するグローバルイベント「Open Source Summit Japan」にゴールドスポンサーとして協賛します。本イベントにおいて、日立から国内企業最多の 10 名が登壇し、日立 OSPO(Open Source Program Office)の取り組みや OSS コミュニティでの活動内容を紹介する、7 つのセッションと 2 つのパネルディスカッションで講演します。特に最新の取り組みとして、CNCF(Cloud Native Computing Foundation)の Chop Wood Carry Water Award^{*1}を受賞した Head of OSPO の中村が OSS のビジネス活用事例を紹介するほか、AI エージェント連携の認証・認可、マルチクラウド環境のコスト管理、エネルギー分野での OSS 活用事例などをご紹介します。また、展示においても AI エージェント連携のアクセス制御やプラットフォームエンジニアリングに関する日立の取り組みを紹介します。本イベントはグローバルな OSS エンジニアが一堂に会する場であり、クラウドネイティブ技術を活用するユーザー企業の皆さまもご参加いただけます。

THE LINUX FOUNDATION



本イベントに参加いただくことで、OSS コミュニティ活動のビジネス貢献や、AI・クラウドネイティブ・セキュリティの最新技術動向などをご覧いただけます。

なお、本イベントの講演は全て英語で行われます。日立の展示は日本語でご紹介可能です。

^{*1} 2025 年 11 月 14 日「日立社員がグローバルで最大規模の OSS 団体 CNCF より、日本の公式コミュニティ設立などをリードした功労を評価され「Chop Wood Carry Water Award」を受賞」

URL : <https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/11/1114.html>

■ イベントの詳細・申込はこちら(Open Source Summit Japan)

<https://events.linuxfoundation.org/open-source-summit-japan/>

■ 日立の講演

日時	講演種別・タイトル・概要
8 日(月) 12:05～	セッション : OSPOCon Toward Sustainable OSPO: Lessons Learned From One Year of OSPO Operations at Hitachi 1 年間の日立の OSPO 運営から得た教訓や、OSS コミュニティとの連携を通じてビジネスを加速させた事例を紹介し、持続可能で影響力のある OSPO を構築・運営するための知見を共有。

日立の登壇者



中村 雄一 古山 悠介

8 日(月) 16:40～	セッション：AI_dev <u>Secure Authorization for Agentic AI in Multi-Domain Environments</u> マルチドメイン環境での AI エージェント連携に必要な安全かつスケーラブルな認可について、Keycloak によるフェデレーテッド認証を用いた安全で相互運用可能なエージェント基盤のデモを実演。	 田畑 義之
8 日(月) 17:30～	パネルディスカッション：Open Source Leadership <u>Panel: Mentoring the Next Generation of Global Contributors: Strategies, Challenges, and Opportunities</u> OSS エコシステムをリードする次世代グローバル貢献者を育成するメンタリングの戦略・課題・機会を解説。オープンソース貢献プログラムにおける貢献者の育成・支援から得た知見を紹介。	 木村 将希(パネラーのうち 1 名)
9 日(火) 12:10～	セッション：AI_dev <u>Lightning Talk: Hybrid LLM Inference With LangChain and Agent2Agent</u> LLM(Large Language Model)を活用したアプリケーション開発フレームワーク LangChain と、AI エージェント間の連携プロトコル Agent2Agent を用いたハイブリッドな LLM 推論を解説。	 伊藤 哲
9 日(火) 14:50～	セッション：Cloud & Containers <u>Sponsored Session: Multi-cloud Cost Management Platform with FOCUS</u> 複数のクラウドサービス利用においてコスト管理の課題を解決する、FOCUS(FinOps Open Cost and Usage Specification)に準拠したマルチクラウドコスト管理プラットフォームを紹介。	 BaHung Nguyen
9 日(火) 16:40～	セッション：Cloud & Containers <u>Building Modern Authorization: A Practical Guide To Centralized, Distributed, and Hybrid Stacks</u> 主流な認可パターン(集中型、分散型、ハイブリッド型)から、プロジェクトに適した認証スタックを選択・構築・展開するためのツールやパターンを、ツールスタックの構築方法とともに解説。	 狐塚 将人
10 日 (水) 12:00～	セッション：Open Source Leadership <u>What You Can Do: in Your Open Source Community</u> プロジェクト参加におけるコーディング以外の貢献方法について、OpenChain プロジェクトでの具体例を紹介。	 渡邊 歩 (日立ソリューションズ)
10 日 (水) 15:50～	パネルディスカッション：Operations Management <u>Panel: Open Source Management Based on Open Source</u> OSS コミュニティ活動の原則である「協働」「透明性」「コミュニティ参画」に基づくプロジェクト・チーム・組織の管理戦略において、イノベーションと持続可能な成長を推進する方法について議論。	 渡邊 歩 (日立ソリューションズ) (パネラーのうち 1 名)

10 日
(水)
16:40～

セッション：Safety Critical Software

LF Energy 101: How Open Source Is Powering the Digital Energy Transition

安全性が重視されるエネルギー分野のデジタル化を促進するために OSS が果たす役割を解説。LF Energy プロジェクトにおける変電所の仮想化、エネルギー予測、自動化による運用簡易化の事例を紹介。



Darshan Chawda 西島 直

■ 日立の展示

- ・ AI エージェント連携のアクセス制御のご紹介(デモンストレーション)
- ・ プラットフォームエンジニアリングの取り組み事例

Open Source Summit Japan 開催概要

イベントサイト：Open Source Summit Japan

<https://events.linuxfoundation.org/open-source-summit-japan/>

開催日時：2025 年 12 月 8 日(月) 9:00～18:10、12 月 9 日(火)～10 日(水) 9:00～17:20

開催場所：虎ノ門ヒルズフォーラム (東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 4F～5F)

参加費：11 月 24 日(月)まで\$599 USD、11 月 25 日(火)以降\$799 USD

主 催：The Linux Foundation

関連サイト

- ・日立の OSS (オープンソース・ソフトウェア)

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/index.html>

商標注記

- ・記載の組織名、製品名などは、それぞれの組織の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 AI & ソフトウェアサービスビジネスユニット

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>